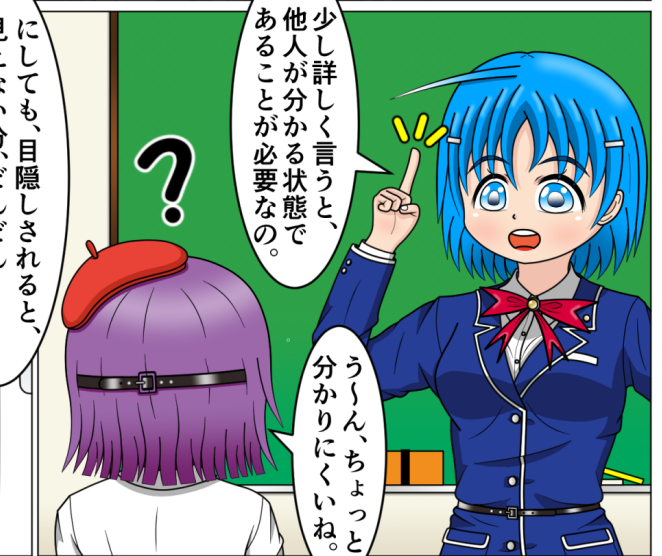
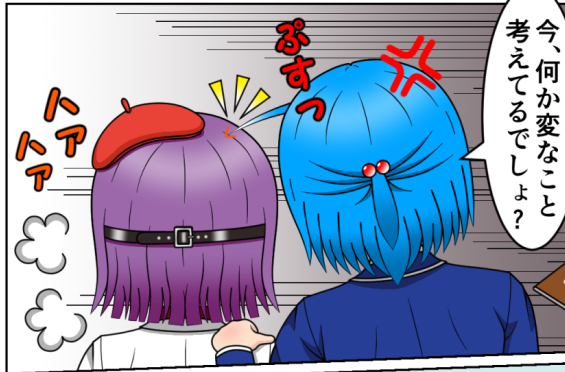


**女子高生知財部長**  
**野々立知納子の**  
**知財な日常**

**第5条：妄想じゃダメ！**  
**表現しなくちゃ!!**

制作：湘浜高校知的財産部  
 (仮)





今、何か変なこと  
考えてるでしょ?

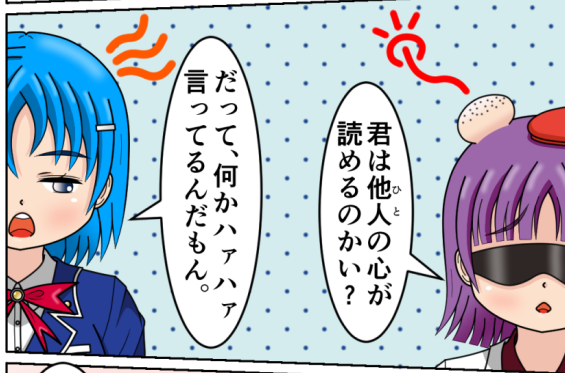
ハア  
ハア

怒

お帰りなさいませ、  
ご主人様!

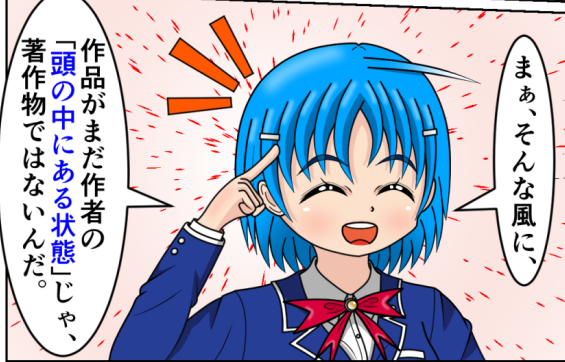


ご注文は、どちらの  
知的財産になさいますか?



だって、何かハアハア  
言ってるんだもん。

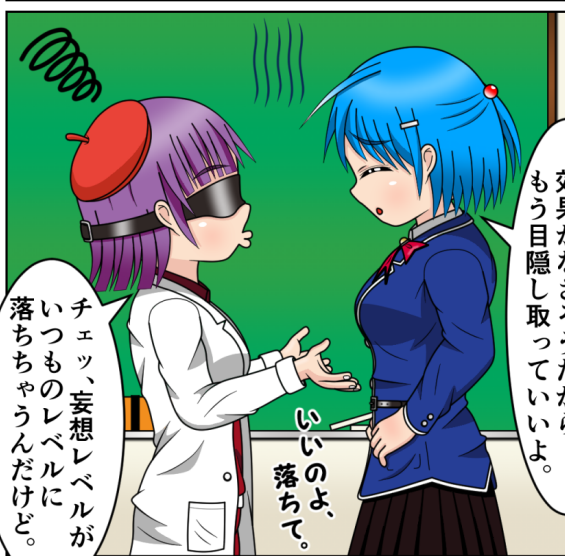
君は他人の心が  
読めるのかい?



まあ、そんな風に、

作品がまだ作者の  
「頭の中にある状態」じゃ、  
著作物ではないんだ。

やっば、  
メイドコースは  
最高だぜ!



チェッ、妄想レベルが  
いつものレベルに  
落ちちゃうんだけど。

いいのよ、  
落ちて。

まっ、そういうこと。  
効果がなさそうだから、  
もう目隠し取っていいよ。

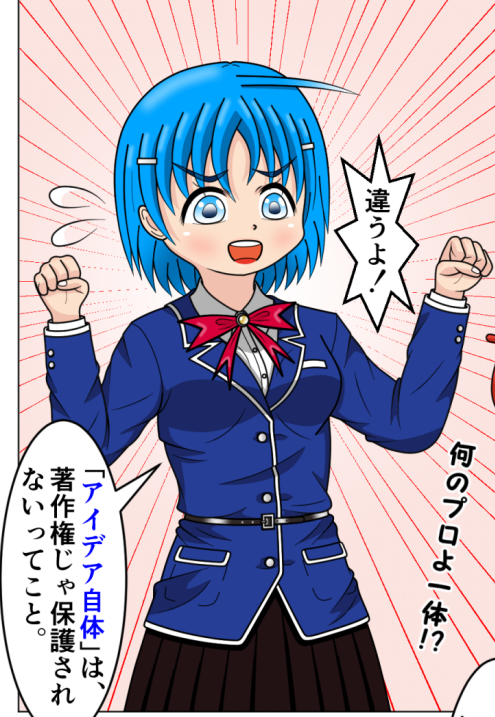
こうして絵に描かないと  
著作物じゃないってことか。

つまり、妄想じゃ  
足りなくて、

ほらっ、  
描けた。







「アイデア自体」は、著作権じゃ保護されないってこと。

違うよ!

何のプロよ一体!?



ここで美術ちゃんに気付いて欲しいことがあるんだけど、分かる?

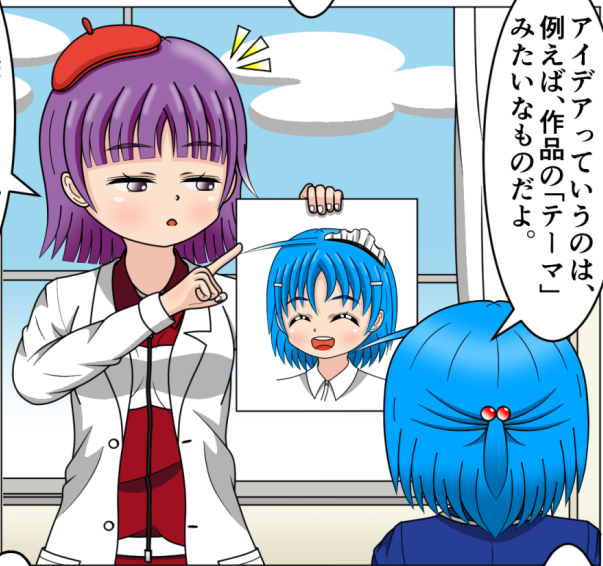
このプロ仕様の目隠しの出所?



じゃあ、私も同じテーマで絵を描いてみるね♥

えっ、知納子が絵描くってよ!?

この絵でいうと、テーマはメイドコススの知納子ってとこか。

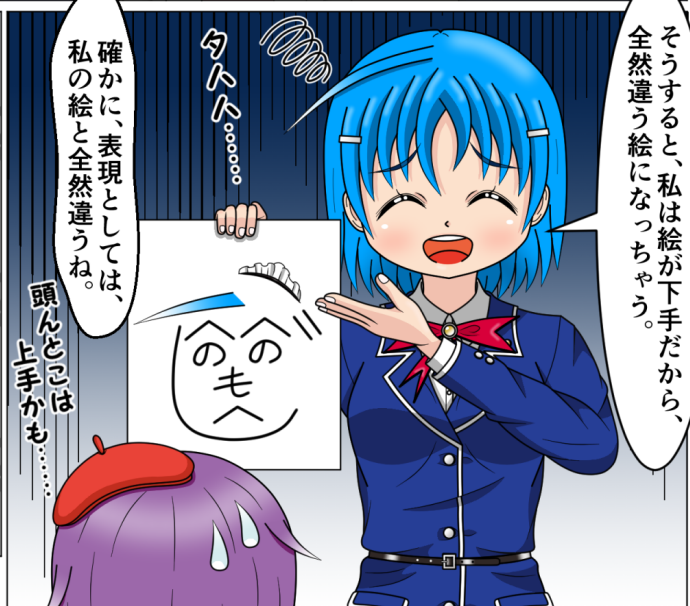


アイデアっていうのは、例えば、作品の「テーマ」みたいなものだよ。



さて、ここで問題です。こういった場合に、

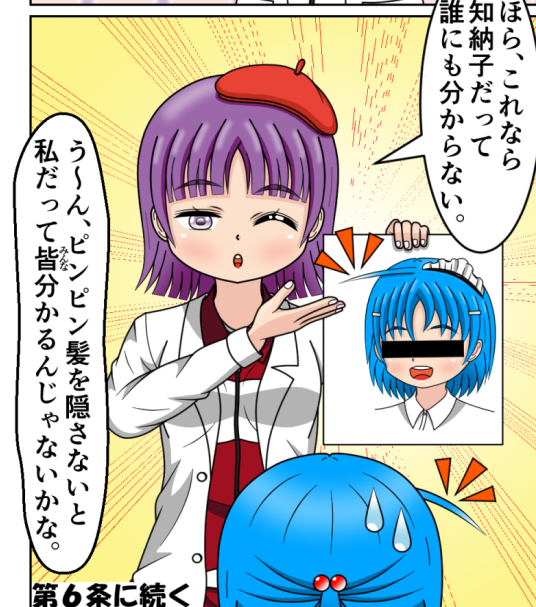
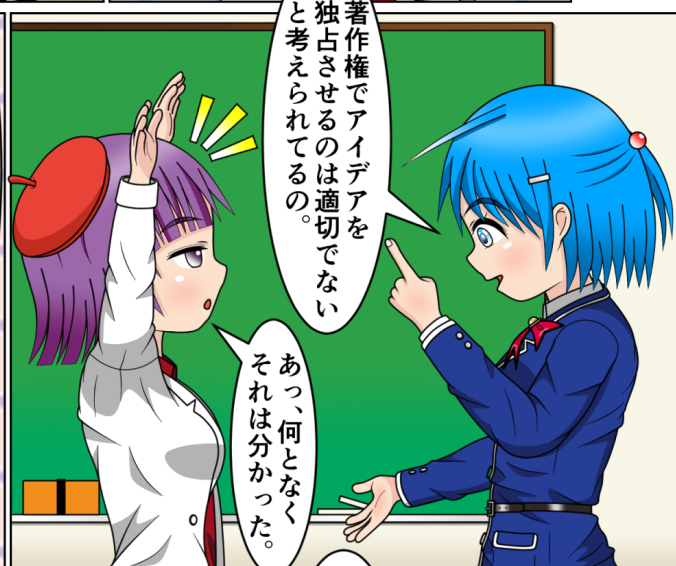
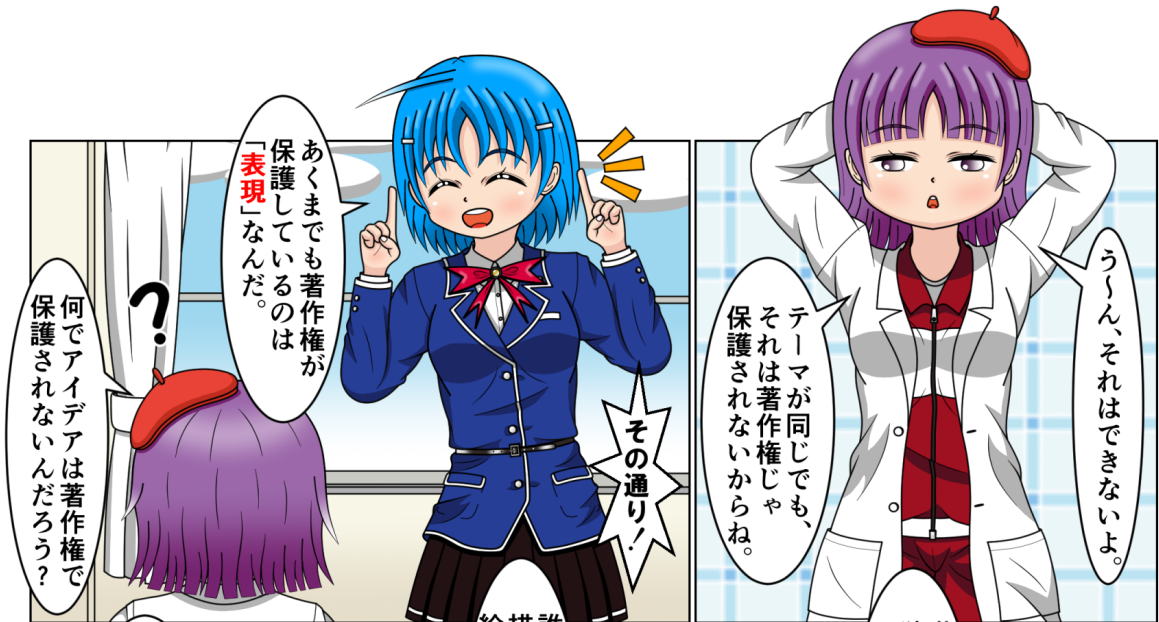
「同じテーマの絵だ!」として、美術ちゃんは、私に著作権を主張できるでしょうか?



そうすると、私は絵が下手だから、全然違う絵になっちゃう。

確かに、表現としては、私の絵と全然違うね。

頭んごは上手かも……



第6条に続く